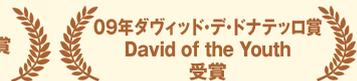
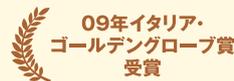


第20回記念 こころの市民講座

イタリア 映画上映会 + 体験談



やればできるさ!!

これはおもしろい!びっくり仰天!
精神科病院を退院した人たちが
イキイキドタバタと自分を生きるー
イタリアではじまった本当の「しあわせ革命」を
当市民講座初の映画上映会でご覧下さい!
施設利用の仲間達の体験談も聞き応えアリ!

人生、ここにあり!

SI PUÒ FARE

■上映時間 111分 + 解説

■日時 2015年

2月28日(土)

13:00 ~ 16:00

生駒市コミュニティセンター 文化ホール

定員(270名)

映画の後が
もっとおもしろい
精神がいを持つ人と
支援者のイキイキ
生活体験談

◀ ぼくたちの 私たちの
「生きづらい日々だけど
いろいろ楽しいこともアリ」の
ぶっちゃけトークです。

舞台は1983年のイタリア——ミラノ。型破りな活動で労働組合を追い出された熱血男・ネッロが行き着いた先は、精神病院の閉鎖によって社会に出ることになった元患者たちの協同組合だった。オカド違いな組合の運営を任されたネッロは、精神病の知識が全くないにも関わらず、持ち前の熱血ぶりを発揮。個性が強すぎて社会に馴染めない元患者たちに、“シゴトでオカネを稼ぐ”ことを持ちかける。すぐに手が出るキレやすい男、彼氏が100人いるという妄想を持つ女、UFOが年金を支給してくれていると信じる男…そんな一筋縄ではいかない面々とネッロは、ドタバタなトラブルを巻き起こしながら、無謀ともいえる事業に突っ走っていくが——。

監督・脚本:ジュリオ・マンフレドニア 原案・脚本:ファビオ・ボニファッチ 製作:アンジェロ・リッツォーリ 撮影監督:ロベルト・フォルツァ
編集:チエチリア・サヌーリ 音楽:ピウオ・アルド・デ・スカルツィ 出演:クラウディオ・ビジオ、アニータ・カプリオーリ、アンドレア・ボスカ、ジョヴァンニ・カルカーニ
ミケーレ・デ・ヴィルシリオ、カルロ・ジュゼッペ・ガバルディニ 原題:SI PUÒ FARE (「やればできるさ」) / 2008年 / イタリア / 111分
配給・宣伝:エスパス・サロウ 協力:イメージ・サテライト 特別協力:イタリア文化会館 後援:イタリア大使館 提供:新日本映画社、朝日新聞社 <http://jinsei-koko.com/>

■主催 / 生駒精神障害者ひだまり後援会
■後援 / 生駒市社会福祉協議会

■参加資料費 500円
障害者は無料:手帳をご提示ください

■お問い合わせ / 地域活動支援センター・コスモールいこま
TEL 0743-73-0900 (先着 270名様・事前申込不要)

